

4 安心・安全な暮らしづくり

(2) 健康づくりの推進

国への提案事項

1 「健康経営」推進のためのデータ活用に係る体制整備

「健康経営」を実践する企業の拡大を促進するにあたり、PHR(パーソナルヘルスレコード)を活用した従業員の健康づくりへの効果的な介入方法を確立するため、国において、自治体が行う先行的な取組とも連携を図りながら、診療情報や薬剤情報などの保健医療情報を統合・一元管理し、PHRを保健指導に加え、分析業務などの二次利用にも活用できる環境整備を行うこと。

2 がん検診受診率の向上に向けた取組

(1) がん検診の実施主体の法的明確化

効果的・効率的な受診勧奨を行うため、特定健康診査と同様に、検診実施者の役割や検診対象者等を含め、がん検診の実施範囲について明確に法律に位置付けること。

(2) データ収集の仕組みの構築

職域におけるがん検診について、対象者数・受診者数等の把握や検診の精度管理ができるよう、各保険者・事業主や各検診機関で統一したフォーマットを用いるなど、必要なデータ収集が可能な仕組みを構築すること。

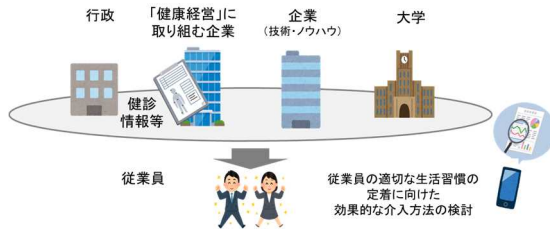
【提案先省庁：厚生労働省】

4 安心・安全な暮らしづくり (2) 健康づくりの推進

広島県の取組

【「健康経営」の推進】

「健康経営」に取り組む企業や大学等と連携した実証試験
県内中小企業を中心に、「健康経営」の導入・定着を支援 など



【がん検診受診率の向上】

がん検診受診率向上に向けたキャンペーンを実施
市町の受診勧奨を支援(効果的な勧奨手法等の研修実施,
協会けんぽ被扶養者に受診勧奨する体制の整備 等)

現 状

県内従業員の約8割を占める中小企業では、「健康経営」の
取組が十分に進んでいない。R元 2.7% (1,452社/54,570社)

がん検診受診率が低迷している。(R元 国民生活基礎調査)

受診率	胃	肺	大腸	子宮頸	乳
広島県	41.3 %	45.9 %	41.0 %	43.6 %	43.9 %
全 国	42.4 %	49.4 %	44.2 %	43.7 %	47.4 %

課 題

【「健康経営」の推進】

若年期からの適切な生活習慣を身に付けるための健診情報等
のPHRを活用した効果的な介入方法が確立できていない。

効果的な介入方法の検討を行うために必要な健診情報等PHR
の活用を容易に行うことができない。

【がん検診受診率の向上】

がん検診は、健康増進法で市町が実施に努めることとされている
が、実際には多くの医療保険者が任意に検診を実施しており、
実施主体や検診対象者の範囲等が明確になっていない。

職域におけるがん検診については、対象者数等のデータを定期的
的に把握する仕組みがなく、効果的な受診勧奨・再勧奨を阻害
する大きな要因となっている。

目 標

【「健康経営」の推進】

「健康経営」に取り組む中小企業数 5,600社 (R7)

【がん検診受診率の向上】

5つのがん検診受診率 50%以上 (R4)